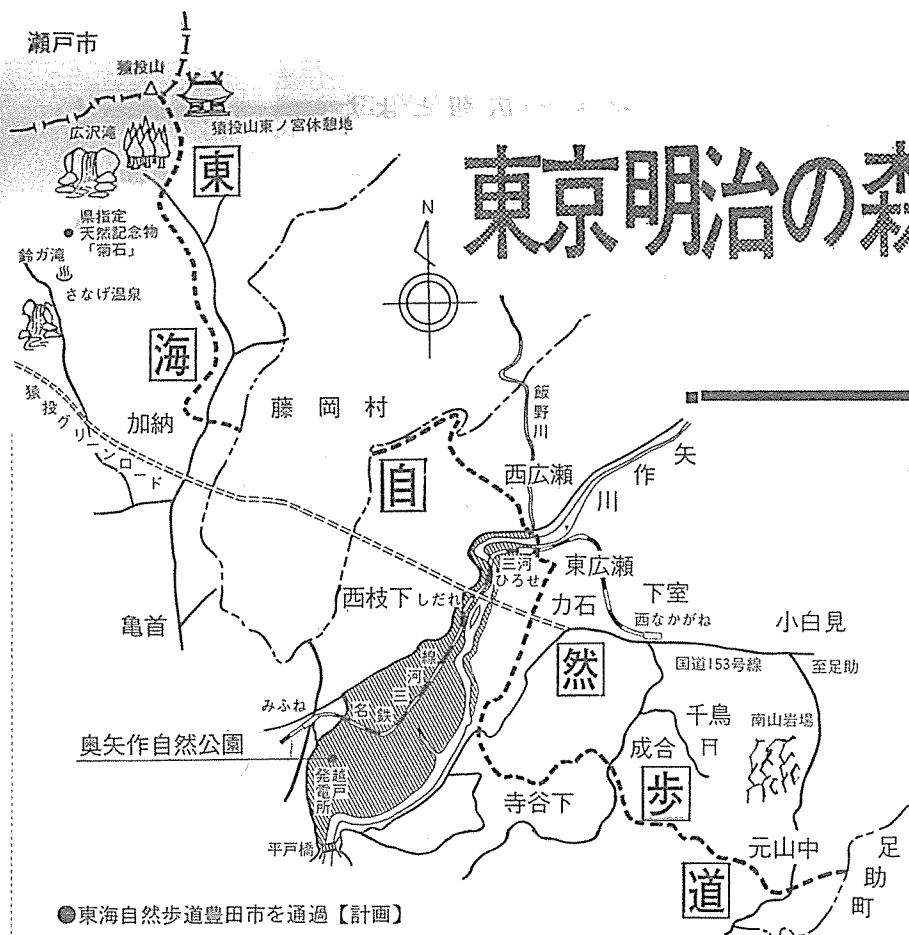


東京明治の森・高尾山国定公園から 大正の森・箕面国定公園まで全長1,275^キ□



●東海自然歩道豊田市を通過【計画】

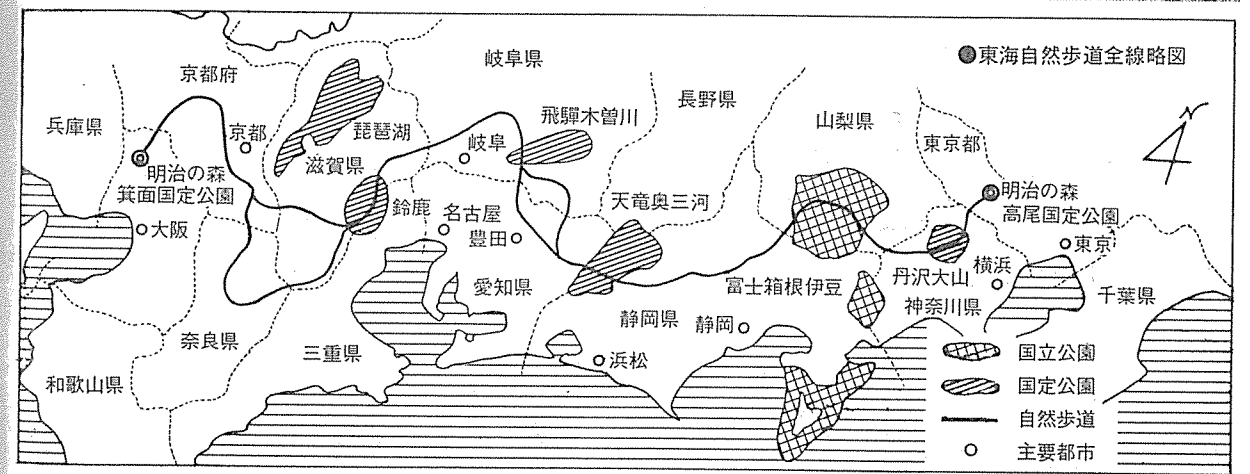
豊田市もコースの一部に

元山中から西広瀬・猿投山頂へ通
じる延長十九・三キロメートルを

県内を通過する地点は、
鳳来寺、豊田、瀬戸、春日
井、犬山など九市町村で全
長百四十・五^キ。このうち
豊田市内は、元山中、成合

国民の健康づくり、体力づくり、あるいは豊かな人間像を目指して厚生省では、ことしはじめ、「東海自然歩道」の建設計画案を発表しました。同歩道は、東京明治の森・高尾山国定公園から北丹沢（神奈川）足和田山・青木ヶ原（山梨）鈴鹿山ろく（三重）を抜けて、箕面（大阪）までのおよそ千二百七十五キロメートルのコース。この間の原生林や野生動物の生息地などの自然環境にめぐまれた地域、あるいは由緒ある社寺、古戦場などの文化財の所在地を通り、人々がみずから足で歩いて、精神と体力を養おうというものです。途中、このコースは豊田市の北部・猿投地区も左ページの図のように通過（計画）することになっております。

東海自然歩道建設計画



東海自然歩道踏破隊の一行も豊田市へ

「東海自然歩道」をこの「足」でと
さる九日、四人の若者が豊田市へやっ
てきました。この人たちは「日本歩

歩け運動」(会長・八田一朗参院議員)
の大西、森口、西野、杉山の四君。先
月二十日に東京明治の森・高尾山国定

上鷹見、勘八を通って東広
瀬へ、そして藤岡村西中山
を抜けて猿投山へ通じる延
長十九・三^キ。

なかでも、現在、当市が親
光開発整備をすすめている
南山地域、奥矢作県立自然
公園の指定を受けている勘

完成目標は昭和四十
七年度
十五キロおきに宿泊施設も
と事業計画により、昭和
四十五年度から四十七年度
の三カ年計画で、事業費は

八岐、落ちアユで広く知ら
れる広瀬のヤマ場、そして
県指定の天然記念物の菊石
など名所、旧跡をもちあわ
せる猿投山ろくなどは、豊
かな自然環境に恵まれ自然
歩道として絶好の地といえ
るでしょう。

公園の清滝をスタートし、
計画案に沿って、文字どお
り、歩け歩け」と当市まで
やってきたもの。



※大阪「明治の森」箕面国定公園

※コースに予定されている猿投神社

※東京「明治の森」高尾山国定公園